

# 札幌の子ども・若者の貧困対策を 考える

2018.6.22

「学校」「家庭」「地域」の3者連携の視点で

## 基調講演「京都の貧困対策実践から学ぶ、子どもが真ん中の地域づくり」

ゲスト：村井 琢哉さん（NPO 法人山科醍醐こどものひろば 理事長）

## パネルディスカッション「学校と地域の連携で家庭を支えるために」

パネリスト：平井 照枝さん（しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道代表）  
札幌市スクールソーシャルワーカー  
若者当事者

村井 琢哉さん（NPO 法人山科醍醐こどものひろば理事長）

コーディネーター：松田 考（Youth+センター館長）



## ～札幌の子ども・若者支援の実態から貧困対策を考える～

「学校」「家庭」「地域」を結ぶ貧困対策を考えるために、京都市で長年、子どもを中心とした地域づくりを推進されている村井琢哉さんをゲストにお迎えしました。地域の子どもたちにかかわり続ける村井さんは「出会った大人として、当たり前のことを行っているだけ」と言いながら、子どもたちの日常に新たな色づけをしていらっしやいます。

後半は、ひとり親家庭に寄り添う平井照枝さん、小・中学生の家庭と学校を支援している札幌市のスクールソーシャルワーカー、経済的に厳しい家庭で育ちながら、一人暮らしを目指す若者を交えたパネルディスカッションを行いました。すべての子ども・若者が「生まれてくる環境は選べなくても、これからの自分の生き方は自分で選べるんだ」と思えるようになるには、大人たちはただ見守るだけではなく、付き合い続けていく必要もあると語られました。

本日のセミナーは、107名という多くの方々にご参加いただきました。今後も、子ども・若者を孤立させないための地域連携を考えるセミナーを企画していきたいと思っております。

（文責：Youth+センター 松本）

主催 Youth+センター（札幌市若者支援総合センター）[指定管理者：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会]